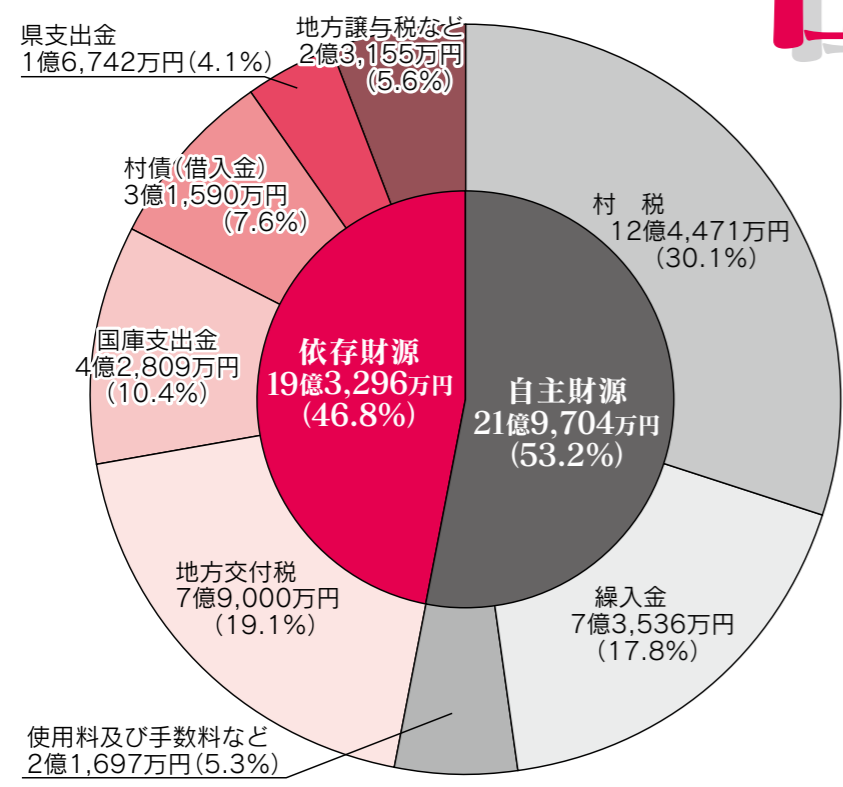


平成28年度  
予算成立

# 住民福祉に重点 住宅改修に2,029万円



## 歳入 (財源)

**<自主財源>**  
村が自主的に調達できるお金  
地方税や手数料、寄付金など  
自主財源が多いほど、行政活動の  
自主性・安定性が高いとされる

**<依存財源>**  
国や県の基準に基づいて交付さ  
れるお金



1歳6ヶ月児健診



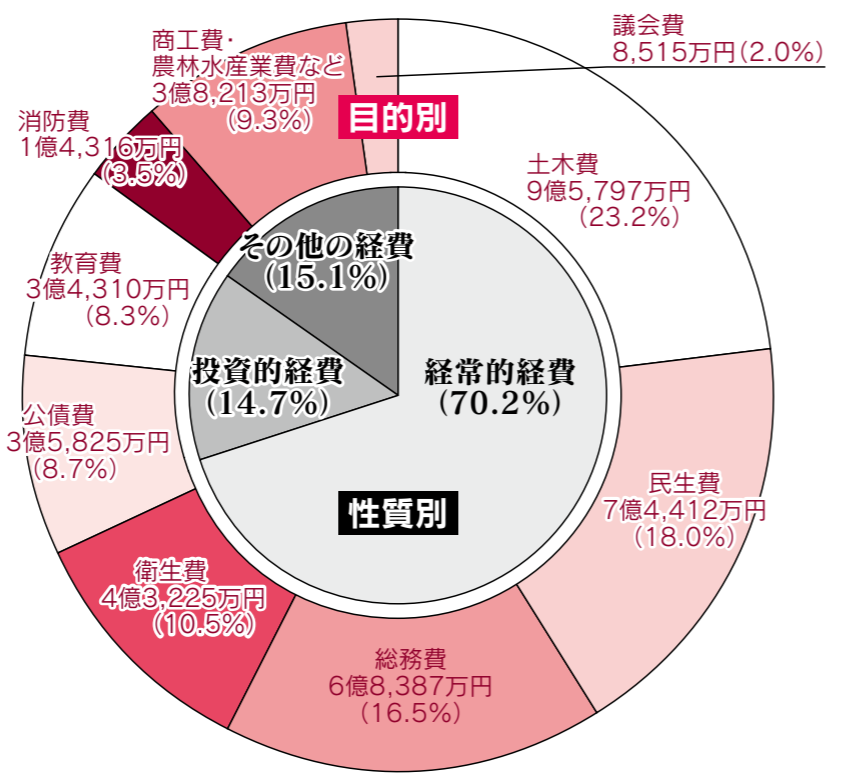
カビ対策等の修繕を行う村営住宅



拡幅される尾西中山線

## 一般会計当初予算 41億3千万円

## 歳出 (使いみち)



**<目的別経費>**  
土木費、民生費、教育費などの  
ように経費を行政目的ごとに分類  
したもの

**<性質別経費>**  
・經常的経費  
事業費内の人件費や物件費、  
公債費など、義務付けられた任  
意に節約できない経費  
・投資的経費  
公共施設などの社会資本の整  
備、建設に必要とされる経費

**あらまし**

平成28年第1回定例会は、3月2日から10日までの9日間  
にわたり開かれました。

村長提出議案が、人権擁護委員推薦の諮問1件、専決処分  
の承認1件、条例制定2件、改正10件、工事請負契約の変更  
1件、辺地総合整備計画の策定1件、平成27年度各種会計補  
正予算7件、平成28年度当初予算8件、議員提出議案が委員  
会条例の改正1件と会議規則の改正1件の全33議案を審議し、  
全て原案のとおり可決されました。

12Pから17Pに掲載  
一般質問は6人の議員が行いました。

# 村の予算を徹底審議



小川 宗寿 委員長

平成28年度各種会計の当初予算を審査するため、予算審査特別委員会（委員長 小川宗寿・副委員長 石川 敏）が7日間にわたり開かれました。

特別委員会では、各課長などに質疑を行い、慎重審議した結果、「可決すべき」と決定し、10日の本会議で議長に報告しました。

## ○ 主な質疑 ○

### 有害鳥獣駆除

有害鳥獣駆除対策は農作物有害鳥獣駆除対策協議会に昨年より20万円多い50万円の助成を行う。くくりわなを30基購入し、更にわな設置の免許取得を助成する。電気柵にも30万円を上限に50%の購入補助を付ける。

### 国保の限度額改正

国民健康保険税の課税限度額はいくらになるのか。税制改正により医療分が54万円、後期高齢者支援金が19万円となり、介護保険料16万円と合わせて、今までより4万円増の89万円に引き上げになる。

### 震災復興事業補助金

震災復興モデル創出事業として(株)ベジドリーム栗原に払われる補助金はいくらか。パブリカ生産工場建設費として5ヶ年で4千万の助成を行う。今年が最終年度で8百万を助成する。

村民を雇用していない法人だが、認定農業者になっているのか。

村内で作った農産物を販売しているということで、本村と栗原市から認定農業者の認定を受けている。

### 再生エネルギーの助成

太陽光発電助成事業に追加された内容は。今までの住宅太陽光発電助成に加え、定置用蓄電池に上限10万円、ホームエネルギー管理システム（HEMS）に上限2万円を助成する。



くくりわなにかかったイノシシ

### 介護保険事業計画

第6期介護保険事業計画での主な改正内容は。特別養護老人ホームの入所基準が、原則として要介護度3以上となった。

保険料の基準額は。4300円から1500円増の5800円となった。基金を取り崩さない方向で算出した結果、上げ幅は大きくなっていく。

### 個人番号カード

村民へのカードの発行はどの程度か。212件の申請があり、2月末時点で68名に交付している。



橋名板の盗難被害にあった雁又橋

### 橋名板の盗難防止

盗難にあった橋名板の復旧の際に、どのような盗難防止対策を取るのか。特殊工具でないと外せないロックナットを使用する。毎月のパトロールで被害がないか注視する。

### 板堰の改修

衡下地区の板堰改修に向けての対応は。地元から村と大和町に対して改修の要望があった。大和町と協議をする方向で検討中である。

### メタボ対策戦略事業

村のメタボの現状は。2年続けて県内ワースト1である。改善のための対策は。メタボ対策として「今より15分多く歩く」を推奨する。そのために各地区に手軽に歩けるコースをつくる。



# 総括質疑

山路 澄雄 委員



村が主催する敬老会（中学校講堂）

## 敬老祝品の廃止を

**委員**  
75歳以上の方910人に祝品総額280万円、80歳以上の方に敬老祝金総額470万円を予算化している。  
しかし出席者が非常に少ない敬老会の開催方法を含め、老人福祉のあり方を考えていくべきである。

**村長**

敬老会の出席者が少ないので、地区ごとの開催か、村全体での開催かを検討する時期にある。経費削減よりも予算の有効活用を考えていく。

**委員**

両イベントは、毎年1社見積りで随意契約を結び、10年以上も同一業者に丸投げで開催されている。改めるべきである。

**村長**

万葉まつりに663万円、ふるさと祭りに498万円を予算計上した。平成28年度は複数の業者に企画を提案してもらうことも検討する。

## 村営住宅老朽化

**委員**

五反田住宅1号棟の雨漏り防止工事に1128万円、その他需用費900万円を計上している。

公営住宅長寿命化計画は、定期点検・予防保全的維持管理を実施すると定めているが、実行されてこなかったのではないか。

**村長**

住宅管理マニュアルを職員に徹底させ、入居者の希望を聞きながら対応する。

採決 賛成10・反対1(欠席1)

# 可決すべきと決定

特別会計7会計は全会一致で可決



待合所が望まれる役場前バス停

## ○ 主な質疑 ○

### 庁舎照明のLED化

—25年度からの事業だが、進捗は。  
**財** みやぎ環境交付金を利用した事業で、今年で全ての照明の交換が完了する。

### バス停の改修について

—役場前のバス停はターミナル化が進んでいる。風雨をしのげる停留所の整備はできないか。  
**総** 関係各課やバス会社を含めて検討する。



タブレット端末での授業

## ICT教育の導入

—小中学校のICT化に向けた取り組みは。  
**教** 小学校は教諭用のタブレットを導入し、ICT教育に習熟してもらう。  
中学校はデジタル教科書と、それに対応したプロジェクターを購入する。

### ※ ICT教育

ICT（情報通信技術）の利用・活用方法の教育、またICT（情報通信技術）を駆使した教育

## 交通安全対策

—村内で事故が続いている。注意喚起のための看板を設置できないか。  
**総** 大和警察署等と協議して、道路管理者への要望を検討する。



国道457号の横断状況（五反田地区）

待機児童解消に向けて

# 小規模保育事業の実施を決定

地域活動支援センター改修に500万円



6月の開所を目指し改修中

## ○ 主な質疑 ○

**議員**  
同じ建物で障害児放課後デイサービスを実施しているが、安全対策は大丈夫か。

**村長**  
事故の無いよう万全の体制で運営する。

**議員**  
保育事業所と放課後デイサービスの同居状態を解消するためにも、多機能型障害者福祉施設の誘致を。

**村長**  
早期開所を目指し、村内で運営できる事業者を選考している。

**議員**  
急ぎよ3月補正での対応となったが、関係機関との調整や保護者への連絡は。

**保健福祉課長**  
運営事業者を公募し、村、社会福祉協議会、事業者で調整する。

待機児童の保護者や放課後デイサービス利用者の保護者にも丁寧な説明を行う。

**議員**  
給食は支援センター内で調理するのか。  
**保健福祉課長**  
連携保育園から配達する計画である。

## ○ 小規模保育事業B型の概要

事業類型	職員数	職員資格	保育室等	認可定員
B型	保育所の配置基準+1名 ※保育所の配置基準 0歳児3人に対し職員1人 1・2歳児6人に対し職員1人	保育士が1/2以上 保育士以外は研修を実施	0・1歳児： 1人あたり3.3㎡	19名
			2歳児： 1人あたり1.98㎡	

平成27年度  
補正予算

# 一般会計ほか6会計を補正

会計別	補正額	予算額	
一般会計	6,842万円	46億8,986万円	
特別会計	国民健康保険	1,220万円	6億2,604万円
	下水道	△1,145万円	2億8,087万円
	介護保険	780万円	5億1,838万円
	戸別合併処理浄化槽	△350万円	4,487万円
	宅地造成	△231万円	5億1,980万円
	後期高齢者医療	54万円	4,611万円

### ◆ 追加の主なもの ◆

- ・コンピューター管理費  
..... 1,826万円
- ・黒川行政事務組合ゴミ処理負担金  
..... 9,352万円
- ・臨時福祉給付金等給付事業  
..... 884万円

## 塩浪住宅団地造成工事

# 工期を8月末まで延長

契約額は3,414万円増の4億4,994万円に



### ◆ 主な変更理由 ◆

- ◇ 土質検査の結果、当初の想定より多くセメントを入れる必要が生じた
- ◇ 盛り土に転用する予定だった表土が盛り土に適さなかったので不足土が生じた
- ◇ 児童や住民の安全に配慮し、小学校側からの切土搬出計画を取りやめた
- ◇ 凍結等の影響により、工事の安全と盛り土の品質の確保が困難になった

# 一般質問

## 6人の議員が登壇

### ◇ 一般質問とは

定例会ごとに、村長や教育長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針などについて、所信や疑問をたずねること、あるいは報告や説明を求めることを言います。

この一般質問により、執行機関の政治姿勢を明らかにするとともに、政治責任を明確にさせます。

結果として「現行政策の変更」や「新規事業を採用」させるなどの効果があります。

次ページから内容を要約して掲載します。

### 質問者一覧表

質問者	質問事項	ページ
石川 敏	○利用者の実態に合ったバスの運行を	12
小川ひろみ	○待機児童の現状は	13
佐々木金彌	○村民バスの実態とデマンドタクシーの検討を	14
早坂 豊弘	○防災危機対策をどう考えるか ○水田畑地化による作物振興策について	15
山路 澄雄	○行政改革に対する村長の認識は	16
高橋 浩之	○地方創生総合戦略をどう活かしていくのか ○これからの農業振興策について	17

※会議録は議会事務局・ホームページで閲覧できます。

### ● 機構改革

#### ● 機構改革の目的

住民サービス向上のため、効率的な行政運営が出来るよう、組織の一部を再編する。

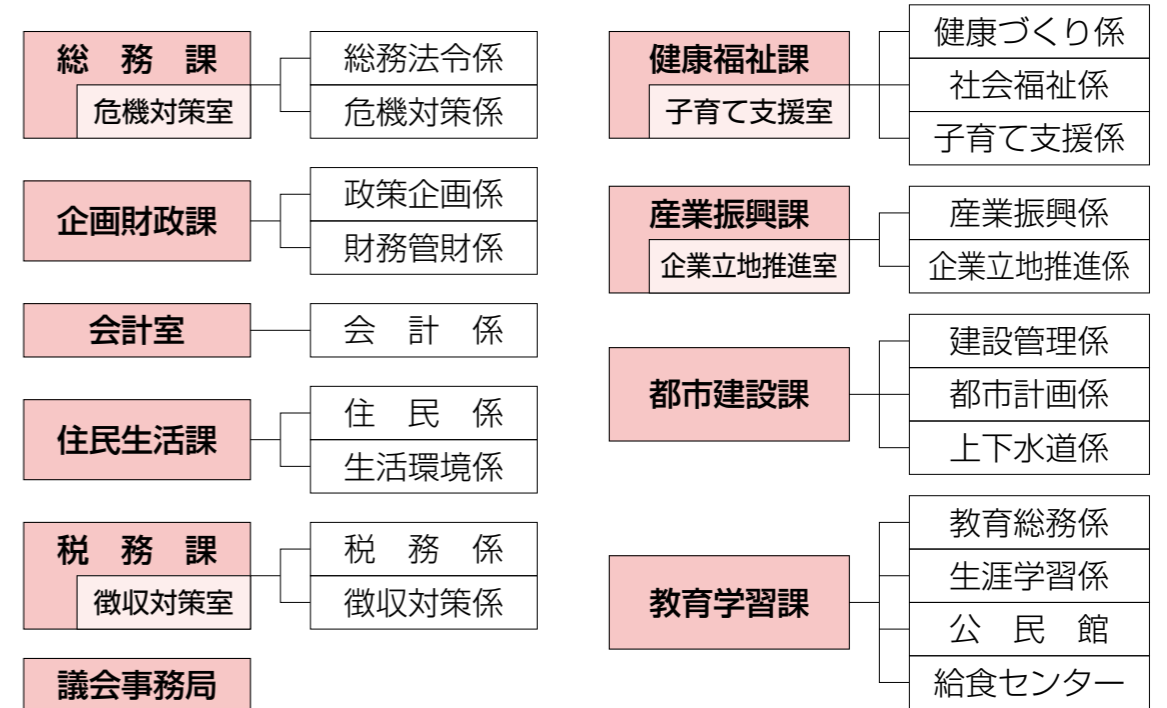
#### ① 班制から係制に

課内組織の充実、責任の明確化・チェック体制の強化を図るため、班制を係制に改める。

#### ② 組織の見直しと課内室の設置

係の業務や規模を見直し、組織の一部を分割又は再編し、新たに課内室を設ける。

#### ● 4月1日からの組織



### ● 主な条例の改正

- 大衡村公民館条例の一部を改正する条例  
ときわ台地区が新たな行政区になることに伴い、行政区の数を13から14に改めるもの
- 村営住宅条例の一部を改正する条例
- 大衡村定住促進住宅条例の一部を改正する条例  
公営住宅の家賃についての法解釈が変わったことにより、延滞金の徴収規程を削除

### ● 会議規則の改正

- 大衡村議会会議規則の一部を改正する規則（分科会又は小委員会）  
付託案件の効率的な審査のため、委員会の下に小委員会を設置できるよう新たに規定



石川 敏 議員

# 利用者の実態に合った 住民バスの運行を 新たな運行体系を検討する

議員

村では路線バスの廃止に伴い、住民の交通手段の確保のため住民バスを村内5路線運行しているが利用者は少ない。運行ルートやバス停留所の場所、運行日や便数、運行時刻は利用者の実態に合っているか。

村長

万葉バスは1台のバスでスクールバスとしての役割も兼ねているので、各路線の運行日や便数、時刻は利用者の希望どおりとはいかないが、通院や買い物などのニーズにはおおむね合っている。

議員

万葉バスは平成15年から運行しているが、村は運行事業者としてバス業務の点検・事業評価をどのようにしてきたのか。

村長

運行委託先のバス会社から毎月乗車状況の報告を受けて利用者実態の動向を分析しているが、便ごとの乗車状況詳細までは把握していない。

議員

他市町ではデマンドタクシーのような新たな住民バスの運行をしている町もあるが、村では新たな運行方法は検討しているか。

村長

現在は他市町のような運行体系は検討していない。

議員

住民の足の確保は大事な住民福祉施策である。今後の住民バスの運行業務の考えや方針は。

村長

万葉バスは、現状のまま維持運行し、並行して新たに高齢者や障害者の方を対象にした有料の福祉デマンドタクシーの運行を検討していく。



利用者が少ない万葉バス

議員

昨年3月に、子ども子育て支援制度が施行されることで、今後予想される待機児童対策を考え、事業計画を進めていくべきと訴えた。執行部は「おおひら万葉こども園での受け入れが可能であり十分対応できる」という答えであった。

しかし、現在待機児童が発生し、保護者の方々は不安を抱えている状況である。若者の定住は村の発展に確実に繋がる。

議員

子育て日本一の施策に力を入れていくという村政は、待機児童問題が発生しないように取り組み、受け皿を整備することが重要である。①おおひら万葉こども園の申込状況は②待機児童が発生した場合の対策は③保育料助成の考えは

村長

①27年度は全体で222名、28年度は全体で226名と若干増加した。②待機児童は27年度においても発生した。28年度は12名である。今後の待機児童の解消は急務であり、地域活動支援センター内に、6月開所を目指し小規模保育事業を実施する。③徴収月額を国の基準より大幅に減額し、保護者負担の軽減を図っている。

議員

国勢調査で大衡村の人口は、県内3位の増加率であった。来年4月には塩浪団地の分譲も予定されている。今後の動向を把握し、随時調査して対応すべきである。

村長

法改正により大幅に入园申し込みが可能になった。今後は塩浪団地も視野に入れ受け皿を整備していく。

議員

現在、地域活動支援センター内で対応している障害児預かりの方への説明をどのように行うのか、斬新的な施策の提案として、国を先取りし幼稚園の無償化を考えては。

村長

開園にあたって、事業者は公募によって選定。障害児保護者の皆さんと、不安要素、危険要素など綿密に協議していく。無償化はまだ考えていない。



小川ひろみ 議員

# 待機児童の現状は 小規模保育事業所を開所



万葉こども園 1歳児の様子



佐々木金彌 議員

## 村民バスの実態と デマンドタクシーの検討を 他町の例を勘案し、方策を検討



大和町デマンドタクシー

**議員**  
万葉バスの4路線は1週間に1日の運行であり、1便の乗客が2人から3人と利用者が少ない。アンケート等で各地域の声を聞いてはどうか。デマンドタクシーについても検討する考えはないか。

**村長**  
万葉バスは継続運行を考えており、並行して高齢者や障害者を対象とした有料の福祉デマンドタクシーを前向きに検討していく。

**議員**  
大和町のデマンドタクシーは、鶴巣・落合・吉田・宮床の各地区と吉岡内を往復する利用体系である。料金は300円で、4人乗りと9人乗りがあり、タクシー会社2社が対応している。

**議員**  
大郷町で福祉デマンドタクシーを試行しているが、町民バスを含めて全路線を検討すると前向きな考えが広報に載っていた。

大和町では昨年よりデマンドタクシーが試行されており、好評で利用者も多く、今年から本格的に実施されることになったと聞く。  
住民のためになる方法を検討すべきと思う。

**議員**

**村長**  
私も認識は同じで、保健福祉課長に大郷町の運営実態を調査させている。介護士の同乗等も視野に入れて検討している。

**議員**

万葉バスの利用動向や費用対効果等も勘案し、他町の状況を参考に今後の方策を検討していきたい。



早坂 豊弘 議員

## 防災危機対策を どう考えるか 本村に合った対策を進める

**議員**  
東日本大震災や関東・東北豪雨を、特別な地震災害や異常気象と捉えるのではなく、起こり得る想定内の災害と考え、防災危機対策について、村はどう対応していくのか。

**村長**  
備蓄品に関しては、3100食分、水は一人1日6ℓの使用を考え、2万人分を確保、その他マットレス、毛布等を少ない数ではあるが備蓄している。  
避難所は各集会所を考えている。今後総体的に判断する。

**議員**  
水1日6ℓでは洗面等での使用も考えれば足りないのので、セーフティータワーの増設を進めては、高齢者、乳幼児用のオムツ、ミルク等の備えは情報の共有ができるエンジニアメールの使用や新たなハザードマップ作成を考えては。

**村長**  
セーフティータワーはときわ台に設置スペースを確保している。今後の災害備蓄品は、色々な意見を聞き本村に合った備えを考える。エリアメールは、村独自の防災メールシステムがあり、有効に活用してほしい。

災害協定はそれぞれの企業と協定を締結しており、先の震災でも、協力を頂いている。

## 水田畑地化による 作物振興策について 今後検討していく

**議員**  
水田転作作物として、曲リネギ、アスパラガス等がある。米一辺倒からの脱却、農家収入安定のため、打開策が必要である。

**議員**  
本村農業の産地化推進のため、収穫機等の購入助成は考えられないか。

**村長**  
米依存からの脱却、収入安定作物の推進は共通認識であり、収穫機の導入等は今後検討していく。



衡上セーフティタワー



山路 澄雄 議員

## 行政改革に対する 村長の認識は 公用車送迎は安全確保のため

議員

村長の通勤形態は、公用車による送迎となっている。他の自治体の首長は、マイカー通勤が主流である。何故、公用車による送迎を受けているのか。

村長

冬季の道路事情の悪化と自治体の長が重大事故を起こした場合、村民及び村に多大な迷惑をかけるので、安全確保のため公用車による送迎を受けている。

議員

村民逝去時の弔辞奉読のあり方は、行政改革に逆行するものである。職員は故人経歴の聞き取り、弔辞の作成等に多くの時間を割いている。

本来の業務である住民福祉の向上に専念すべきである。他の自治体は行政区長の代読で弔意を表している。

村長

これまでの経緯で「急に変えるのも」と考え現在も続けている。今後は検討すべきと考えている。

議員

中途採用により、地方行政の経験が全く無く、年齢の高い人を幹部職員として採用している。

今年度も同様の採用を行うとのことである。職員の士気に関わる問題である。

村長

新卒者の採用だけでなく、経験を有する人を採用した。

議員

村長は、選挙当選直後、マスクミを通して「村長の多選禁止条例案」を制定すると明言したが、いまだに条例案を提出していない。「言行一致」で速やかに議会に提出すべきである。

村長

昨年9月に、条例改正のため、議会全員協議会で説明したが、同意を得られないと判断し、上程を断念した。



村長公用車



高橋 浩之 議員

## 地方創生総合戦略を どう活かしていくのか 村発展のため戦略を推進する

議員

地方創生総合戦略が策定されたが、重点項目や具体的な施策をどの様に展開していくのか。国からの助成措置はあるようだが、その交付条件は厳しく、また国の政策の変換により2〜3年で交付金がカットされるかもしれない。それでも村独自に事業を推進していくのか。

村長

国では、地方の人口減少を食い止め、将来にわたって活力ある社会を維持するため地方創生総合戦略を策定するよう閣議決定した。

本村では、国や県の内容を踏まえつつ第5次総合計画をベースとして、若年層へのアンケート調査や有識者から広く意見を募り策定した。

重点項目として目指したのは、安定した雇用の創出、本村への人の流れの創出、出産・子育ての支援、安全・安心な地域づくりである。

既に定住新築補助金に若年層の促進を図るため20万円の上乗せを行っている。

補助金の有無に関わらず、村の発展のため地方創生総合戦略を推進していく。

## これからの

## 農業振興策について

### 前向きに検討していく

議員

日本農業は大変厳しい時代を迎えている。村としても新たな農業振興策として、貸付資金の償還期限の延長や貸付対象者の制限を緩和すべきである。

転作田において、高収益の上がる作目は初期投資が必要である。生産性の安定や販路の確保等には時間がかかる。耕作者の経営体力を維持していくための施策として、農産物加工などの六次産業化を推進するための支援策を検討すべきである。

村長

新たな作物に取り組むには、多少のリスクがある。将来的に持続でき採算性が見込める事業なのか、第三者機関等の意見を伺う必要があると考える。

その事業が可となれば、経営体力の維持増強のためにも、現貸付制度の償還延長や対象者の拡大には、前向きに検討していきたい。





# 産業教育 常任委員会

# 委員会レポート

# 総務民生 常任委員会

調査年月日：平成28年2月2日

調査年月日：平成28年2月3日



## 郡リース株式会社仙台工場 (大衡工業団地内)

### ○施設の概要

- ・土地面積：19,906.45㎡ (6,032坪)
- ・工場棟延床面積：4,547.4㎡
- ・出荷テリトリー：東北6県
- ・出荷能力：1,000坪/月
- ・竣工：平成25年10月

※当初は登米市で操業していたが、東日本大震災で工場が被害を受けた。仮設住宅生産後、大衡村に工場を移設している。

## 交通安全対策について

講師：大和警察署交通課長

### ○郡内の交通事故発生状況

- ・人身事故  
H27：325件 H26：359件  
(前年比△34件)
- ・物損事故  
H27：2115件 H26：2332件  
(前年比△217件)

※宮城県の事故件数は減少しているが黒川郡の減少率は県平均の2倍

### ○大衡村の特徴

- ・国道4号の一車線区間、国道457号の直線道路に集中している
- ・追突事故が多い
- ・発生時間帯は午前7時が事故のピーク

## 障害者福祉について

### ○障害者自立支援サービスの支給者数

サービス種類	支給決定者	障害別内訳			
		身体	知的	精神	児童
全 体	44名	7名	18名	8名	11名
居 宅 介 護	2名		1名	1名	
行 動 援 護	2名		1名		1名
療 養 介 護	4名	4名			
生 活 介 護	15名	2名	13名		
短 期 入 所	13名		7名	1名	5名
共 同 生 活 介 護	5名		3名	2名	
施 設 入 所 介 護	8名	2名	6名		
就 労 移 行 支 援	3名			2名	1名
就 労 継 続 支 援 A 型	2名	1名		1名	
就 労 継 続 支 援 B 型	7名		3名	4名	
児 童 発 達 支 援	2名				2名
保 育 所 等 訪 問 支 援	2名				2名
放 課 後 等 デイ サービス	8名				8名
計 画 相 談 支 援	35名	5名	16名	6名	8名

### ○業務のサイクル

リース用建物の補修メンテナンスと保管を行い、営業店からの依頼で各現場へ出荷。現場で組立、工事の後、リース開始。リース期間終了後、解体し工場へ返却される。工場では解体された部材を受け入れ、部材の選別、再補修を行い保管する。

## 議会活性化 特別委員会

調査年月日：平成28年2月24日

## 機構改革に伴う委員会の再編

### ○委員会の所管変更

庁内機構改革に伴い、両常任委員会の所管と名称を変更するため、議員発議による委員会条例の改正を3月定例会に提出することを決定した。

### 総務住民常任委員会

- ・総 務 課
- ・企 画 財 政 課
- ・住 民 生 活 課
- ・税 務 課

### 産業教育常任委員会

- ・産 業 振 興 課
- ・都 市 建 設 課
- ・健 康 福 祉 課
- ・教 育 委 員 会

## 塩浪団地 特別委員会

調査年月日：平成28年2月24日

### 現地調査

- ・整地工—盛土材量の不足  
(16,400㎡)
- ・掘削運搬土の作業計画の見直し
- ・階段排水路工の新規追加等



整備が進む塩浪住宅団地

農業振興と

市街化調整区域について



衡下地区

遠藤久雄さん

私は還暦も過ぎ、稲作農家を維持しながら、夕方からパートタイマーとして働いています。

近年米価の下落により個々の稲作農業への意識低下、担い手不足や高齢化等で、水田を手放したり、第三者に耕作移譲している傾向が年々増加しています。又、意欲があっても新しく農機具を買い替え「頑張ろう」という気持ちだが、私も含め徐々に薄れてきています。国の政策もあり、難しいことですが、村の基幹産業である農業を今一度見直していただき、若者が生業として働ける農業の振興に期待した

と思います。

もう一点は、現状の「市街化調整区域」の問題です。土地があっても有効活用が出来ず、固定資産税と草刈等の維持管理だけでも大変です。自分の土地でありながら、自由に活用できない状況です。

私も、県土木事務所や県庁を訪れ話を聞きましたが、都市計画区域の変更は非常に難しい案件であると思いますが、是非、機会あることに意識していただき、前向きに対処してほしいと思います。

若者が本気で働ける農業振興の施策と土地利用が自由に活用できるように願います。

Topix



議会事務局からのご挨拶

4月1日より議会事務局職員も、新たな体制でのスタートとなりました。

局長はじめ職員一同、村民の皆様の力になれるよう頑張ります。

人権擁護委員の推薦



早坂たみゑ氏

人権擁護委員の推薦について、議会の意見を求められ適任であると答申しました。

あとがき



春のおとずれと共に、新年度が始まりました。行政機構改革により、効果的な行政サービスの提供が期待されます。議会では、議会活性化特別委員会を立ち上げ、様々な課題に積極的に取り組んでまいります。議会広報をおし、大衡村の魅力の発信、まちづくりの在り方を伝えていきたいと考えています。今後も皆様のご要望に応えられるよう努めてまいります。

全力で頑張ります。

(小川ひろみ)

大衡村議会

広報編集特別委員会

- 委員長 小川 宗寿
- 副委員長 齋藤 一郎
- 委員 石川 敏
- 委員 早坂 豊弘
- 委員 佐々木金彌
- 委員 小川ひろみ